

研修 評価シート

1. 研修先名（記入者名）	新潟大学歯学部（宮崎 秀夫 教授）
2. 研修員名	ナカタ エリザ アケミ
3. 研修テーマ	高齢者の歯科治療
4. 研修実施期間	H20 年 4 月 14 日～H21 年 1 月 16 日
<p>5. 研修内容および評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修員の目標達成についてどのような指標を設定しましたか。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者健康調査の仕組みについて理解する。</li> <li>2. 高齢者研究対象者への参加奨励を実践する。</li> <li>3. 高齢者研究の実地調査に参加し、データ収集の役割を持つ。</li> <li>4. 高齢者研究から得られた医学エビデンスを、文献を通して理解する。</li> <li>5. 高齢者歯科関連の学会参加により、有用な情報を得る。</li> <li>6. 地域口腔保健（住民参加型）の実際を研修する。</li> <li>7. 大学病院での高齢者歯科医療、特に、ドライマウス外来、摂食嚥下リハビリ外来、予防歯科外来にて研修を行う。</li> </ol> </li> <li>・それらについて具体的にどのような成果があげられますか。</li> </ul> <p>また、全体的な達成度はどのくらいですか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者研究について <p>2 か月の調査準備期間中に、研究事務局リーダーについて研究対象者宅を訪問し、日本語によるコミュニケーション技術が向上した。事前に研究デザインの理論的背景を理解し、5～6月の土日、のべ10日間の調査実施を体験した。さらに、これまでに得られた研究成果の中から国際学術雑誌掲載10論文以上について精読し、新たな研究テーマを探索した。以上により、研修の研修員の主目的であった「高齢者研究」をブラジル帰国後、実施できる知識、技術を得ることができた。</p> </li> <li>2. 学会参加について <p>外傷歯学会への参加により、実際的な口腔外科診療に有効な情報を得、レポート作成した。</p> </li> <li>3. 地域口腔保健（住民参加型）研修について <p>日本で先進的活動を行っている北海道医療大学で1週間の研修を行い、ブラジルにみられない予防医療形態を経験できた。レポート作成した。</p> </li> <li>4. 大学病院での臨床研修について <p>日本の歯科医師制度により、研修員は見学研修に限定された。その中で、歯科治療に有用な理論と技術を帰国後の臨床に生かせることができると期待された。ブラジルでは行われていない口腔ケア支援と摂食リハビリテーションのトレーニングは、特に、有用であった。レポート作成した。</p> </li> </ol> <p style="text-align: right;">達成度 95 %</p>	

研修成果について目標達成できた要因は何ですか。

日本語コミュニケーション技術が向上したこと。特に、研究対象者や患者と直接コミュニケーションがとれたことは、理解力向上に大いに役立った。

理解力、判断力が優れていたこと。

研修意欲、勤勉さを保持し続けたこと（ホームシックにかからず）。

・達成できなかった点があるとするならば、考えられる要因についてお書き下さい。

特になし

6. その他、特記すべき活動実績及び成果（研修目標に直結するもの以外で、実施した活動を記入して下さい）

特になし

#### 7. 研修の総括

研修員の目的に対して、適切な研修内容となっていましたか。

研修目的が明確であったため、研修計画の策定は容易であった。要求を超える内容を提示したが、全てに対し興味を示し、積極的に参加したので適切であったと思われる。

研修員が帰国後、本邦で得た研修技術を適応できる内容となっていましたか。

- (1) 疫学研究の方法論が理解できた。
- (2) 研究フィールドのマネジメントの方法を会得した。
- (2) 文献検索の方法を含め必要な情報収集が行えた。
- (3) 研究対象者とのコミュニケーションの取り方を実践できた。
- (4) ドライマウス診療の理論と技術が研修できた。
- (5) 摂食嚥下リハビリテーションを体験し、高齢者の健康管理について歯科医師の役割が理解できた。
- (6) コミュニティセンターでのヘルスプロモーション体験から地域での予防医療活動が理解できた。

研修員が、研修先および地域社会に於いて、国際交流、国際理解活動を行いましたか。

- (1) 来日以来、日本人と積極的交流を行い、日本語会話と漢字交じり文書作成をトレーニングした。
- (2) 10月は日系人大会に参加し、研修内容について発表した。
- (3) 8月、秋田の竿燈まつりに参加した。
- (4) 2回、静岡にてホームステイした。
- (5) 埼玉にホームステイし、日本の正月を経験した。